オリーブの木のたとえ（ヤコブ５章）

１回目の訪問 キリストの時代以前（３－14 節）	２回目の訪問 キリストの時代 （15－28 節）	３回目の訪問 大背教（29－49 節）	４回目の訪問 福音の回復（50－76 節）	福千年 （76－77 節）
神は古代イスラエルの背教を御覧になり，悔い改めを叫ぶように預言者たちを遣わされる。しかし，民はほとんど耳を傾けない。神は，悪人が滅ぼされ，異邦人が連れて来られるようにされる。イスラエルの義にかなった少数の枝が世界中に散らされる。	キリストの教会が広がると，イスラエルと，散らされた多くの枝は良い実を結ぶ。	散らされた自然の枝も含めて，すべての実が悪くなる。	散らされたイスラエルは集められ，福音は世界中にもたらされる。義が増すと，悪人は滅ぼされ，ついには悪人がいなくなる（イエス・キリストの再臨）。	義が支配する。再び悪が世に入って来ると，神は義人を悪人から引き離し，地球を火によって清められる。
栽培されたオリーブの木（イスラエル）が枯れ始める（３－４節）。主人は刈り込み，肥料を施す。新しい枝が少し伸びるが，先の方は枯れかけている（４－６節）	良い実（15－18 節）	悪い実だが，根はまだ良い（29－37 節）	野生の枝が燃やされる（58，65－66 節）	すべての木が一つのようになり，自然の実を結ぶ（74－76 節）
大枝が切り落とされ，野性の枝が接がれ，若枝が隠される（７－14 節）				
枯れた枝が燃やされる（7，9 節）	やせた土地，良い実（20－22 節）	悪い実（39，46 節）		良い実が集められ，果樹園は焼かれる（77 節）
	もっとやせた土地，良い実（23 節）	悪い実（39，46 節）		
野生のオリーブの木（異邦人；7，9 節）	実（24 節；枝については触れていない）			
	良い土地，良い実と悪い実（25 節）	悪い実（39，46 節）		

元の親木の枝が，散らされた木に接がれる（54－56 節）

散らされた木の枝が元の親木に接ぎ返される（52－53 節）